



RC(ラジオコントロール)だからこそ楽しめる、あのコンセプトカーが疾走する！

『ラジオコントロール Wドライブ プラス

モリタ 林野火災用消防車』

本格 RC カー×はたらくるまの新コンセプト

2019年6月29日(土)より順次発売

株式会社バンダイ(代表取締役社長:川口勝、本社:東京都台東区)の子会社である株式会社シー・シー・ピー(代表取締役社長:宮嶋雅夫、本社:東京都台東区)は、水陸両用の人気 RC シリーズ「Wドライブ プラス」の新商品『ラジオコントロール Wドライブ プラス モリタ 林野火災用消防車』(8,618 円・税 8%込/7,980 円・税抜)を2019年6月29日(土)より順次発売します。

「ラジオコントロールWドライブ プラス」は、シー・シー・ピーが2014年より展開している、陸だけではなく水面も走行可能な水陸両用のパワフルな RC カーシリーズです。これまで「トヨタ FJ クルーザー」「ジープラングラー」など、スポーティーな車種をラインアップしてきましたが、本商品より、「はたらくるま」がシリーズに加わります。お子さまはもちろん、大人にも人気の高い「はたらくるま」を今後も広くラインアップしていくことで、より幅広い年齢層のファンの獲得を狙います。

「はたらくるま」第一弾として展開する「モリタ 林野火災用消防車」は、消防車の国内トップメーカーであるモリタから消防車のコンセプトカーとして2010年に発表された、林野火災に特化した消防車です。米国のデザイン賞「2011年度 IDEA 賞(International Design Excellence Awards)の Commercial And Industrial Products 部門」において最高賞の“金賞”を、ドイツのデザイン賞「レッドドット・デザイン賞 デザイン・コンセプト」の「Mobility 部門」において最高賞の“ベスト・オブ・ザ・ベスト”を受賞するなど、国内外で大きな評価を得ている人気のコンセプトカーです。



『ラジオコントロール Wドライブ プラス モリタ 林野火災用消防車』は、モリタ監修の下、実車の優れたデザイン性や力強さはそのままに、水陸両用仕様への最適なデフォルメを取り入れています。トップライト部分にはLEDを搭載しており、実際に点灯させて走らせることもできます。

アウトドアシーンでご家族や友人など、みなさまでお楽しみいただくことを想定して防水・防塵加工を施しているため、商品の故障や破損を気にせず走行させることができます。さらに、遊んだ後は洗うことも可能です。また、量産車ではなくコンセプトカーである「モリタ 林野火災用消防車」が実際に稼働している様子をイメージしながら、自ら操作を楽しめることも本商品の魅力です。



商品名	ラジオコントロール Wドライブ プラス モリタ 林野火災用消防車
メーカー希望小売価格	8,618 円・税 8%込/7,980 円・税抜
本体用電池	単 3×6 本(別売)
送信機用電池	単 3×2 本(別売)
対象年齢	6 歳以上
周波数	2.4GHz
本体サイズ	全長約 300mm
連続走行時間	陸上:約 75 分 / 水上:約 25 分(新品電池使用時)
走行速度	陸上:時速約 6km / 水上:時速約 1.5 km
操作距離	陸上:約 30m / 水上:約 5m
セット内容	本体・送信機・取扱説明書
アクション	前後進・左右折・ストップ
その他	同時走行台数:10 台、トップライト点灯(LED)

ラジオコントロール Wドライブ プラスシリーズ

株式会社シー・シー・ピーが2014年から発売している、パーツ交換など一切不要で陸上から水面に飛び込み、そのまま水の上を走ることができる水陸両用の画期的なRCカーです。

陸上でのパワフルな走行も魅力の1つで、登坂角35度の坂道もぐんぐん登ることができます。人気の実車「トヨタ FJ クルーザー」「ジープラングラー」が全国の玩具売場で好評発売中です。



モリタ 林野火災用消防車 コンセプトカー

近年、世界各地で大規模な林野火災の被害が報告されています。林野火災の発生する地域の多くはインフラが整っておらず、「情報の共有が困難」「水源の確保が困難」「足場が悪い」などの問題が立ちまわります。本コンセプトカーは厳しい現場にも勇敢に立ち向かう数々の機能をコンパクトに凝縮した先進的な消防車です。森を守る力強さと攻撃的な躍動感を表現したデザインで、見た目にも「あの消防車が来たら助かる！」といった、安心感や信頼感を持っていただけるようなイメージを意識した仕上がりになっています。



シー・シー・ピー 公式サイト <http://www.ccp-jp.com/toy/>

※本プレスリリースの内容は2019年6月10日のものであり、予告なく変更する場合があります。

Manufactured under licence from MORITA HOLDINGS CORPORATION.

